



学校教育目標

芽 ば え 輝 く ～ 未 来 を 拓 く 5 つ の 芽 ～

R8.10.5 発行

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまりを守る子(信頼の芽)

学校生活の中には、多くの「気付きのチャンス」があります。友達の困っている表情に気付く、教室の乱れに気付く、自分の言葉や行動が相手の気持ちにどのような影響を与えたのかに気付く。こうした日常の中の小さな気付きこそ、人としての成長につながる大切な瞬間です。

気付く力は、周囲をよく見る観察力や、相手の立場になって考える共感力と深く関わっています。気付ける子は、周囲の人への配慮ができるだけでなく、「今、自分に何ができるだろう」と考え、自らよりよい行動を選び取ることができます。誰かに言われて動くのではなく、自分で考えて行動できることは、これからの社会を生きていく上でも大切な力です。

一方で、気付くためには心のゆとりも必要です。自分のことで精いっぱいになってしまえば、周りの人や出来事に目を向けることは難しくなります。

「友達が困っているな」「ここをきれいにした方がいいな」「今の言い方は大丈夫だったかな」といった小さな気付きが積み重なることで、子どもたちは少しずつ社会の中での自分の役割を見付け、周囲の人と関わりながら、よりよい行動を選択できるようになります。

気付ける人は、学校だけでなく、家庭や地域、そして将来どのような場所においても必要とされる存在です。子どもたち一人一人が周囲に目を向け、人の思いを感じ、自分にできることを考えて行動できるよう、その土台となる「気付く力」を日々の学校生活の中でしっかりと育てていきたいと考えています。

児童会役員選挙 9/30

令和8年度後期児童会役員を決める演説会と選挙を行いました。

演説会では、立候補した児童が「宝小学校をもっとよい学校にしたい」という思いを、自分の言葉で力強く語りました。それぞれが目指す学校の姿や、児童会役員として取り組みたいことを堂々と発表し、4～6年児童に自分への投票を呼びかけました。どの立候補者からも学校への熱い思いが伝わってくる、素晴らしい演説でした。

演説会の後には、選挙管理委員から投票の方法や注意点について説明があり、続いて投票を行いました。児童たちは、本物の選挙と同じように選挙管理委員か

ら投票用紙を受け取り、自分で選んだ候補者を記入した後、投票箱へ一票を投じました。真剣な表情で投票する姿からは、自分たちの代表を自分たちで選ぶという責任感が感じられました。

今回の選挙に向けて準備を進め、当日も選挙が公正かつ円滑に行われるよう力を尽くしてくれた選挙管理委員のみなさん、ありがとうございました。今回の経験が、児童一人一人にとって、学校生活や自治について考える大切な機会となりました。



インクルーシブスポーツ講座 10/2

美和高等学校地域探究科の2年生のみなさんと、本校5・6年生による「インクルーシブスポーツ講座」を行いました。

この講座は、異年齢の児童・生徒がインクルーシブスポーツを通して交流し、その意義を学ぶとともに、お互いの年齢や立場の違いを理解し、相手を思いやる心を育むことを目的として実施しました。

はじめに、美和高校の生徒のみなさんから、インクルーシブスポーツの種類や意義、ルールなどについて、スライドや動画を使って分かりやすく説明していただきました。その後、高校生と小学生がグループになり、「ボッチャ」「ラダーゲッター」などの競技と一緒に体験しました。

活動中は、高校生が優しく声を掛けたり、ルールを丁寧に説明したりする姿が多く見られました。子どもたちも、高校生との交流を楽しみながら、仲間と協力して競技に取り組みました。

スポーツを通して、年齢の違いを越えて自然に会話や笑顔が生まれ、楽しく交流することができました。

